



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔SFRS〕（連結）

2023年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 オムニ・プラス・システム・リミテッド

コード番号 7699 URL <https://www.omniplussystem.co.jp/>

代表者 (役職名) 最高経営責任者 (Chief Executive Officer) (氏名) Neo Puay Keong

問合せ先責任者(役職名) 株式会社OMNI-PLUS SYSTEM Japan 代表取締役社長 (氏名) 重田 直行 (TEL) 03-6841-3922

四半期報告書提出予定日 2023年12月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

## 1. 2024年3月期第2四半期連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日) (千米ドル未満四捨五入)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		売上総利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%
2024年3月期 第2四半期	155,715 (23,292)	△ 13.0	20,294 (3,036)	△ 11.5	7,508 (1,123)	△ 20.2	6,677 (999)	△ 12.1	6,677 (999)	△ 12.1	6,288 (941)	△ 8.0
2023年3月期 第2四半期	178,981 (26,772)	16.8	22,927 (3,429)	40.3	9,405 (1,407)	△ 0.1	7,601 (1,137)	△ 7.0	7,601 (1,137)	△ 7.0	6,834 (1,022)	△ 16.6

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)
2024年3月期 第2四半期	0.3171 (47.43)	0.3171 (47.43)
2023年3月期 第2四半期	0.3609 (53.98)	0.3609 (53.98)

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「四半期利益」を基に算定しています。  
株式発行の詳細に関しては、4. その他(3)をご参照下さい。

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	%
2024年3月期 第2四半期	204,063 (30,524)	75,129 (11,238)	75,129 (11,238)	36.8
2023年3月期	179,668 (26,875)	70,736 (10,581)	70,736 (10,581)	39.4

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)
2024年3月期 第2四半期	6,964 (1,042)	14 (2)	△ 7,098 (△ 1,062)	28,618 (4,281)
2023年3月期 第2四半期	△ 1,545 (△ 231)	△ 596 (△ 89)	7,270 (1,088)	27,688 (4,142)

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)
2023年3月期	—	0.09 (13.46)	0.15 (22.44)	—	0.24 (35.90)
2024年3月期	—	0.09 (13.46)			
2024年3月期 (予想)			0.15 (22.44)	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) ( ) の日本円は、為替レートに基づく換算値であり、JDR受益者への円建て分配金とは異なります。

(注3) 2024年3月期第3四半期末の配当予想については、2023年11月14日付「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」を参照願います。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		売上総利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株 当たり当期利益	
	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	米ドル (円 銭)	%
2024年3月期 通期	389,600 (58,276)	18.9	48,100 (7,195)	10.8	20,100 (3,007)	5.8	17,400 (2,603)	5.9	17,400 (2,603)	5.9	0.8267 (123.66)	5.9

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① SFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

①期末発行株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	21,057,844株	2023年3月期	21,057,844株
②期末自己株式数	2024年3月期2Q	0株	2023年3月期	0株
③期中平均株式数	2024年3月期2Q	21,057,844株	2023年3月期2Q	21,057,844株

(4) 本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象ではありません。

(5) 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等を保証するものではありません。実際の業績は、主要市場の経済情勢の変化や為替の変動など様々な要因により、予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料において便宜上記載されている日本円の換算は、別段の記載がある場合を除き、1米ドル=149.58円(2023年9月29日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値)により計算されています。

○添付資料の目次

1. 定性的情報	1
(1) グループ事業概要	1
(2) グループ経営成績概要	1
(3) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 定量的情報	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約連結純損益及びその他の四半期包括利益計算書	5
(3) 要約連結持分変動計算書	6
(4) 要約連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

## 1. 定性的情報

### (1) グループ事業概要

オムニ・プラス・システムグループ（当社グループ）は、エンジニアリング・プラスチックを軸に、顧客のニーズに応じたカタログ販売や汎用品（ジェネリック）の販売を行うエンジニアリング・プラスチックの流通事業と、顧客ニーズにより深く関与して、高耐久・高耐熱、デザイン性を有する樹脂コンパウンド（混合、着色等）を行う開発・製造事業を行っています。

2023年9月末現在、当社グループは、シンガポール国内外の連結子会社19社、ジョイント・オペレーション（共同支配事業）1社、及び持分法適用会社2社で構成されています。

それぞれの事業の内容及び特徴は、次のとおりであります。当社グループの事業はエンジニアリング・プラスチック事業の単一セグメントとなっています。

#### ①流通事業

原則として当社のエンジニアリング・センター機能及び当社グループによる高機能エンジニアリング・プラスチックのコンパウンド（混合、着色等）を介さない製品の流通であり、その多くは汎用品（ジェネリック）の販売として、売上収益の約60～70%を占めています。

#### ②開発・製造事業

当社グループは、最終顧客（ブランドメーカー）が生産する家庭用電気機器、電子機器、OA機器、自動車、通信関連機器、医療機器等の製品において、筐体や内蔵部品等の部品用途のニーズに対応した素材の耐久性、耐熱性等に優れた高機能エンジニアリング・プラスチックの開発を行うほか、最終顧客（ブランドメーカー）との共同研究、さらには、A\*STAR（シンガポール科学技術研究庁）及びシンガポールの各種研究機関との共同研究を行っています。

さらに、マレーシア（ジョホール・バル）の製造子会社 Nihon Pigment Sdn. Bhd. において、最終顧客（ブランドメーカー）のニーズに基づく高耐久性、高耐熱性、或いはデザイン性を有した高機能エンジニアリング・プラスチックのコンパウンド（混合、着色等）品の製造・供給を行っています。

### (2) グループ経営成績概要

#### 財政状態計算書

##### 資産

資産合計は、前連結会計年度末と比較して24.4百万米ドル増加しました。この増加は、主に売掛金及びその他の債権が31.9百万米ドル増加したこと、及び非流動資産（その他の売上債権を除く）が6.3百万米ドル増加したことによるものですが、棚卸資産が13.2百万米ドル、現金及び現金同等物が0.6百万米ドル減少したことにより一部相殺されています。

棚卸資産の減少は、主に当第2四半期において経営陣が仕入れを管理し、手持ちの在庫を顧客に押し出したことによるものです。

売掛金及びその他の債権の増加は、主に前連結会計年度末時点と比較して、当第2四半期末時点での回収時期の違いと、当第2四半期（2023年7月から9月の3ヵ月間）の売上収益（88.6百万米ドル）が、2023年3月期第4四半期（2023年1月から3月の3ヵ月間）の売上収益（67.1百万米ドル）より増加したことによるものです。

現金及び現金同等物の減少については、主に運転資金への現金支出を前連結会計年度末時点と比較して、増加させたことによるものです。

##### 負債

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、20.0百万米ドル増加しました。この増加は、主に買掛金及びその他の債務（非流動負債のその他の債務を含む）が24.9百万米ドル増加したことによるものですが、有利子負債が4.4百万米ドル減少したこと、未払税金が0.5百万米ドル減少したこと及び繰延税金負債が0.04百万米ドル減少したことにより一部相殺されています。

買掛金及びその他の債務の増加は、主に前連結会計年度末時点と比較して、当第2四半期末時点での仕入高の増加及び支払時期の違いによるものです。

有利子負債の減少は、主に当第2四半期末の貿易金融の減少によるものです。

## 資本

資本合計は、前連結会計年度末の70.7百万米ドルから4.4百万米ドル増加し、75.1百万米ドルとなりました。増加の主な要因は、当第2四半期の黒字化による利益剰余金が4.8百万米ドル増加したことによるものですが、2023年9月に実施した配当金の支払い1.9百万米ドルにより調整されています。

## 損益計算書

当第2四半期連結累計期間の売上収益は、155.7百万米ドルとなり前年同期比13.0%の減収となりました。ウクライナ紛争の継続と世界的なインフレ率の高さにより、市場心理が冷え込み、これが原因で減収につながりました。売上収益は減収となりましたが、売上総利益率は、13.0%と前年同期の12.8%から微増となりました。

売上総利益は、前年同期の22.9百万米ドルに対し、当第2四半期では20.3百万米ドルとなりました。四半期利益は、前年同期の7.6百万米ドルから6.7百万米ドルへ減益となりました。四半期利益の減益は、主に金融費用の増加によるものです。

営業費用（販売費、管理費及びその他の営業費用を含む）は、売上収益の減収により、前年同期の12.8百万米ドルから1.1百万米ドル（8.8%）減少し、11.6百万米ドルとなりました。

金融費用は、2.0百万米ドルとなり、前年同期の1.2百万米ドルから69.4%の増加となりました。この増加は、主にシンガポールにおける銀行金利の上昇及び銀行の貿易金融枠の利用増加によるものです。

その他の収益は、前年同期の0.3百万米ドルより0.4百万米ドル（105.9%）増加して0.7百万米ドルとなりましたが、この増加は、主に当第2四半期における設備廃棄によるものです。

税金費用は、前年同期の1.8百万米ドルより54.0%減少して0.8百万米ドルとなりました。この減少は、主に当期において利益に対する税制優遇措置が適用されたこと（前年同期では税制優遇措置は非適用）、繰延税金資産の認識額が増加したこと及び税金費用の過大計上の戻入によるものです。

## キャッシュ・フロー計算書

2023年9月30日現在における現金及び現金同等物は、前年同期末の27.7百万米ドルから0.9百万米ドル増加し、28.6百万米ドルとなりました。また、2023年9月30日現在の定期預金額は、3.7百万米ドルとなりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、7.0百万米ドルとなりました。運転資本増減考慮前営業利益は、10.5百万米ドルとなり、2.2百万米ドルの運転資本のマイナス変動と1.4百万米ドルの法人所得税の支払により一部相殺されました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は、0.01百万米ドルとなりました。この主な内訳は、有形固定資産の取得0.5百万米ドル、関連会社への投資0.4百万米ドルとなりましたが、これらは、有形固定資産の処分による収入0.5百万米ドル及び子会社の取得0.4百万米ドルにより一部相殺されました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当期における財務活動の結果、7.1百万米ドルの支出となりました。これは主に、銀行借入の返済3.4百万米ドル、配当金の支払い1.9百万米ドル及び利息の支払い1.7百万米ドルによるものです。

### (3) 今後の見通し

2024年3月期通期の業績予想は、売上収益を389.6百万米ドル（前年同期比18.9%増）、当期利益を17.4百万米ドル(前年同期比5.9%増)としています。

当第2四半期累計期間においては、売上収益及び四半期利益は、目標値を下回る結果となりましたが、第2四半期に入り受注が回復し始めていることと、新配合製品（売上総利益率の高いスペシャリティ（特殊）プラスチック）の販売拡充と、北米における新市場の拡大による下半期の巻き返しによって、売上収益及び利益目標を達成できることに慎重ながら自信を持っています。

しかしながら、ロシアとウクライナの紛争の終結が不透明であることが、サプライチェーンに影響を及ぼし、多くの国々で運用コストが上昇する可能性があります。さらに、本年10月初旬にイスラエルとハマスの紛争が勃発したことから、今後の見通しは、さらに悪化する可能性があります。また、世界的な金利上昇は今後も続くことが予想されるため、資金調達コストの上昇につながりかねません。

当社は、これらの影響が2024年3月期中は続く想定しており、2024年3月期の当期利益の水準や、管理費及び金融費用については、引き続き慎重な見方をしています。今後も引き続き既存顧客と緊密に連携しながら、新たな市場や潜在的な顧客との取引機会を模索すると同時に、コストの抑制に努めてまいります。今後、業績予想に影響を与えるような市場の急変が起こった場合には、適時適切に開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、一般に公正妥当と認められた国際会計基準(IFRS)に準拠するシンガポール財務報告基準(SFRS)を採用しています。

### 3. 定量的情報

#### (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2023年3月31日)		当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
<b>資産</b>				
有形固定資産	17,713	2,649	23,831	3,565
使用権資産	618	93	485	73
関連会社株式	1,495	224	1,995	298
無形資産及びのれん	4,747	710	4,506	674
その他の売上債権	603	90	688	103
繰延税金資産	344	51	388	58
<b>非流動資産</b>	<b>25,521</b>	<b>3,817</b>	<b>31,892</b>	<b>4,770</b>
棚卸資産	59,386	8,883	46,196	6,910
売掛金及びその他の債権	61,791	9,243	93,644	14,007
現金及び現金同等物	32,970	4,932	32,331	4,836
<b>流動資産</b>	<b>154,147</b>	<b>23,057</b>	<b>172,170</b>	<b>25,753</b>
<b>資産合計</b>	<b>179,668</b>	<b>26,875</b>	<b>204,063</b>	<b>30,524</b>
<b>資本</b>				
資本金	26,074	3,900	26,074	3,900
為替換算調整勘定	△ 511	△ 76	△ 900	△ 135
利益剰余金	45,174	6,757	49,956	7,472
親会社の所有者に帰属する持分	70,736	10,581	75,129	11,238
非支配持分	-	-	0	0
<b>資本合計</b>	<b>70,736</b>	<b>10,581</b>	<b>75,129</b>	<b>11,238</b>
<b>負債</b>				
その他の債務	103	15	204	31
長期有利子負債	11,954	1,788	9,782	1,463
繰延税金負債	507	76	469	70
<b>非流動負債</b>	<b>12,563</b>	<b>1,879</b>	<b>10,456</b>	<b>1,564</b>
買掛金及びその他の債務	38,406	5,745	63,240	9,459
短期有利子負債	54,468	8,147	52,276	7,819
未払税金	3,495	523	2,962	443
<b>流動負債</b>	<b>96,369</b>	<b>14,415</b>	<b>118,478</b>	<b>17,722</b>
<b>負債合計</b>	<b>108,932</b>	<b>16,294</b>	<b>128,934</b>	<b>19,286</b>
<b>資本及び負債合計</b>	<b>179,668</b>	<b>26,875</b>	<b>204,063</b>	<b>30,524</b>

(2) 要約連結純損益及びその他の四半期包括利益計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	178,981	26,772	155,715	23,292
売上原価	△ 156,054	△ 23,343	△ 135,421	△ 20,256
<b>売上総利益</b>	22,927	3,429	20,294	3,036
その他の収益	332	50	684	102
販売費	△ 2,894	△ 433	△ 2,575	△ 385
管理費	△ 5,377	△ 804	△ 5,347	△ 800
その他の営業費用	△ 4,488	△ 671	△ 3,712	△ 555
金融費用	△ 1,172	△ 175	△ 1,985	△ 297
持分法による投資損益	77	12	148	22
<b>税引前四半期利益</b>	9,405	1,407	7,508	1,123
税金費用	△ 1,804	△ 270	△ 831	△ 124
<b>四半期利益</b>	7,601	1,137	6,677	999
<b>四半期利益の帰属：</b>				
親会社の所有者	7,601	1,137	6,677	999
非支配持分	-	-	0	0
<b>四半期利益</b>	7,601	1,137	6,677	999
その他の包括利益 純損益に振り替えられる 可能性がある項目：				
在外営業活動体の外貨換算差額	△ 750	△ 112	△ 381	△ 57
投資による外貨換算差額	△ 16	△ 2	△ 8	△ 1
<b>その他の包括利益</b>	△ 766	△ 115	△ 389	△ 58
<b>四半期包括利益</b>	6,834	1,022	6,288	941
<b>四半期包括利益の帰属：</b>				
親会社の所有者	6,834	1,022	6,288	941
非支配持分	-	-	△ 0	△ 0
<b>四半期包括利益</b>	6,834	1,022	6,288	941



(3) 要約四半期連結持分変動計算書

グループ	会社の所有者に帰属する持分 (単位：千米ドル ( ) 百万円)			
	資本金	為替換算 調整勘定	利益剰余金	資本合計
2022年4月1日 残高	26,074 (3,900)	△ 48 (△ 7)	33,793 (5,055)	59,818 (8,948)
<b>四半期包括利益合計</b>				
四半期利益	- (-)	- (-)	7,601 (1,137)	7,061 (1,137)
<b>その他の包括利益</b>				
外貨換算差額	- (-)	△ 766 (△ 115)	- (-)	△ 766 (△ 115)
<b>その他の包括利益合計</b>	- (-)	△ 766 (△ 115)	- (-)	△ 766 (△ 115)
<b>四半期包括利益合計</b>	- (-)	△ 766 (△ 115)	7,601 (1,137)	6,834 (1,022)
<b>資本に直接認識される 所有者との取引額 所有者による拠出及び 所有者への分配</b>				
配当金	- (-)	- (-)	△ 1,895 (△ 283)	△ 1,895 (△ 283)
<b>所有者による拠出及び 所有者への分配額合計</b>	- (-)	- (-)	△ 1,895 (△ 283)	△ 1,895 (△ 283)
2022年9月30日 残高	26,074 (3,900)	△ 815 (△ 122)	39,498 (5,908)	64,757 (9,686)

会社の所有者に帰属する持分

(単位：千米ドル( )百万円)

グループ	資本金	為替換算 調整勘定	利益剰余金	非支配持分	資本合計
2023年4月1日 残高	26,074 (3,900)	△ 511 (△ 76)	45,174 (6,757)	- (-)	70,736 (10,581)
<b>四半期包括利益合計</b>					
四半期利益	- (-)	- (-)	6,677 (999)	△ 0 (△ 0)	6,677 (999)
<b>その他の包括利益</b>					
外貨換算差額	- (-)	△ 389 (△ 58)	- (-)	0 (0)	△ 389 (△ 58)
<b>その他の包括利益合計</b>	- (-)	△ 389 (△ 58)	- (-)	0 (0)	△ 389 (△ 58)
<b>四半期包括利益合計</b>	- (-)	△ 389 (△ 58)	6,677 (999)	△ 0 (△ 0)	6,288 (941)
<b>資本に直接認識される 所有者との取引額 所有者による拠出及び 所有者への分配</b>					
配当金	- (-)	- (-)	△ 1,895 (△ 283)	- (-)	△ 1,895 (△ 283)
<b>拠出及び分配額合計</b>	- (-)	- (-)	△ 1,895 (△ 283)	- (-)	△ 1,895 (△ 283)
<b>所有持分の変動</b>					
非支配持分を持つ 子会社の取得	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
<b>所有持分の変動合計</b>	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
<b>所有者との取引額合計</b>	- (-)	- (-)	△ 1,895 (△ 283)	0 (0)	△ 1,895 (△ 283)
2023年9月30日 残高	26,074 (3,900)	△ 900 (△ 135)	49,956 (7,472)	0 (0)	75,129 (11,238)

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
	<b>税引前利益</b>	9,405	1,407	7,508
<b>調整:</b>				
棚卸資産陳腐化引当金	1,255	188	627	94
無形資産償却費	242	36	242	36
棚卸資産の除却	18	3	△ 9	△ 1
有形固定資産の除却	4	1	-	-
有形固定資産償却費	616	92	529	79
使用権資産償却費	70	10	159	24
貸倒引当金戻入額(純額)	△ 78	△ 12	36	5
有形固定資産売却益			△ 249	△ 37
関連会社の損益	△ 77	△ 12	△ 148	△ 22
受取利息	△ 18	△ 3	△ 58	△ 9
支払利息	1,172	175	1,985	297
未実現為替差益	△ 33	△ 5	△ 98	△ 15
<b>運転資本の増減考慮前営業利益</b>	12,575	1,881	10,523	1,574
<b>運転資本の変動:</b>				
-棚卸資産	△ 4,900	△ 733	13,535	2,025
-売掛金及びその他の債権	△ 23,638	△ 3,536	△ 30,959	△ 4,631
-買掛金及びその他の債務	14,663	2,193	15,241	2,280
営業活動によるキャッシュ・フロー 小計	△ 1,299	△ 194	8,340	1,248
法人所得税の支払額	△ 246	△ 37	△ 1,376	△ 206
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 1,545	△ 231	6,964	1,042
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
利息の受取額	18	3	58	9
有形固定資産の取得による支出	△ 276	△ 41	△ 509	△ 76
子会社取得による支出	△ 337	△ 50	374	56
有形固定資産の処分による収入	-	-	451	67
関連会社への投資の増加	-	-	△ 360	△ 54
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 596	△ 89	14	2
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
担保に供されている定期預金の増減額	△ 361	△ 54	153	23
取締役に対する報酬額の減額	8	1	-	-
有利子負債による収入	102,791	15,375	72,934	10,909
有利子負債の返済	△ 92,394	△ 13,820	△ 76,362	△ 11,422
リース負債の返済	△ 69	△ 10	△ 179	△ 27
配当金の支払額	△ 1,895	△ 283	△ 1,895	△ 283
利息の支払額	△ 809	△ 121	△ 1,747	△ 261
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	7,270	1,088	△ 7,098	△ 1,062
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	5,129	767	△ 119	△ 18
現金及び現金同等物の期首残高	23,212	3,472	29,105	4,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 654	△ 98	△ 368	△ 55
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	27,688	4,142	28,618	4,281

財務諸表における現金及び現金同等物の内訳

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
財政状態計算書における 現金及び現金同等物	31,224	4,670	32,331	4,836
定期預金(担保付)	△ 3,535	△ 529	△ 3,713	△ 555
キャッシュ・フロー計算書における 現金及び現金同等物	27,688	4,142	28,618	4,281

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
2. 会計方針の変更  
中間財務諸表の作成において採用された会計方針は、当社グループの2023年3月31日に終了した年次財務諸表に採用され、記載されているものと一致しています。

2023年4月1日に開始した当事業年度から適用されるFRS、及びFRSの改正及び解釈指針の適用は、当社グループの中間連結財務諸表に重要な影響を与えるものではありません。

3. セグメント情報  
当社グループは「エンジニアリング・プラスチック事業」のみの単一セグメントであり、同事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

製品区分ごとの収益

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
ジェネリック (汎用) プラスチック	107,705	16,111	93,585	13,998
スペシャリティ (特殊) プラスチック	71,276	10,661	62,130	9,293
合計	178,981	26,772	155,715	23,292

4. 2024年3月期第2四半期における新規連結子会社  
当社グループは、当第2四半期においてOmni Development Sdn Bhdの株式資本の99.998%を0.1百万米ドルの売却対価で取得しました。